

## お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を  
心から歓迎いたします。  
「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」



## 教会の働き

- 10月13日(月)、信州祈り会があります。  
場合 : JTG ライフセンター塩尻
- 10月16日(木)午後7:30 男女宣教会定期礼拝  
があります。
- 11月23日(日)本場キムチバザー&コンサートが  
行われます。主日礼拝は チャン・トンオク牧師が御  
言葉を取り次いでくださいます。礼拝後 午後2時  
から バザーとコンサートを行います。チラシとポス  
ターが印刷されます。どうぞ、隣人やご家庭での広  
報・伝道のためにご活用ください。地域の方々に主  
の愛と喜びが伝わるように、一枚一枚のチラシが福  
音の種として用いられることを祈ります。
- 三分ブリッジ伝道法を共に学びましょう！  
教会では、誰でも簡単に福音を伝えることができる  
「三分ブリッジ伝道法」を、教会全体で覚えて  
実践していくことを目指しています。

## 聖徒の為に祈りましょう。

- ・コロナとインフルエンザから守られますように。
- ・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
- ・YouTubeライブで、礼拝している教会と聖徒の  
皆さんのが為に。(大阪ホームチャーチ、相模原の  
佐々木こずえ執事の家庭など)

神はこの世界をどのように  
導かれるのか？

ルカ13:1-5

1 ちょうどそのとき、人々が何人  
かやって来て、ピラトがガリラヤ人たちの血を、ガリラヤ人た  
ちが献げるいにえに混ぜた、とイエスに報告した。2 イエ  
スは彼らに言われた。「そのガリラヤ人は、そのような災  
難にあったのだから、ほかのすべてのガリラヤ人よりも罪深  
い人たちだったと思いますか。3 そんなことはありません。  
…あなたがたも悔い改めないなら、みな同じように滅びま  
す。4 また、シロアムの塔が倒れて死んだあの十八人は、  
…罪の負債があったと思いますか。5 そんなことはありま  
せん。わたしはあなたがたに言います。あなたがたも悔い改  
めないなら、みな同じように滅びます。

### 来週礼拝奉仕者

主日礼拝 韓芽唯(賛美リーダ)松島スヤンティ(祈祷)

夕方賛美礼拝 韓芽唯(賛美リーダ)北原明子(祈祷)

水曜礼拝 松島スヤンティ(司会) 松島浩一(祈祷)

### 礼拝時間案内

主日礼拝	AM 11:00
夕方賛美礼拝	PM 2:30
教会学校（小学生まで）	AM 9:50～10:30
水曜礼拝	PM 7:00
祈祷会・火・木曜日	PM 8:30～9:30
土曜日	PM 8:00～9:00

週報 2025-41号

2025.10.12

神の国とその義を  
第一に求める

宗教法人 イエス・キリスト

# 飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4

TEL 0265-56-8286

[www.iidahc.com](http://www.iidahc.com)

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)

副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

## 主日礼拝

AM 11:00~

賛美リード	柳澄香
信仰告白 (使徒信条)	
代表祈禱	熊谷茂美
特別賛美	インマヌエル聖歌隊
聖書個所	ルカの福音書 13:1-5 (神はこの世界をどのように導かれるのか?)
メッセージ	柳承吉牧師
賛 美	神の家族
祝 祷	柳承吉牧師

## 夕方賛美礼拝

PM 2:30~

賛美リード	柳澄香
代表祈禱	鈴木真由美
聖書個所	第一テサロニケ 5:21-28 (聖い生き方をしなさい。2)
メッセージ	柳 承吉牧師
主の祈り	

## 水曜礼拝

PM 7:00~

司 会	韓芽唯
代表祈禱	鈴木真由美
聖書個所	ローマ書 7:15-16
メッセージ	ローマ書 7 章の概略(7) 柳承吉牧師
主の祈り	

## 今週の御言葉

神はこの世界をどのように導かれるのか?

ルカ 13:1-5

本日の御言葉は「ちょうどそのとき」という言葉で始まります(13:1)。直前のルカ12章でイエスはこう語られました。「あなたがたは、西に雲が出るのを見ると、すぐに『にわか雨になる』と言い、そのとおりになります。…地と空の様子を見分けることを知りながら、どうして今の時代を見分けようとしているのですか」(12:54-56)

イエスが「時代を見分けよ」と語っておられた、その“ちょうどそのとき”、人々が二つの出来事を報告します。(1)ピラトがガリラヤ人を殺害した事件(13:1)、(2)シロアムの塔が倒れて18人が死亡した事故(13:4)。人々はこの痛ましいニュースを、神の御心や終末の兆候としてどう解釈すべきか、イエスに聞きました。

イエスはまず、犠牲になった人々を「他の者より罪深かった」とは言わせませんでした。「そのガリラヤ人たちは…ほかのすべてのガリラヤ人よりも罪深い人たちだったと思いますか。そんなことはありません。…」(13:2-3)  
「シロアムの塔が倒れて死んだあの十八人は…ほかのだれよりも罪が多かったと思いますか。そんなことはありません。…」(13:4-5)

ここで主は、出来事の“政治的”解釈や“被害者の罪”という安易な因果論を退け、「この出来事をあなたがたへの神のサイン(合図)として受け取り、悔い改めに向き直りなさい」と呼びかけておられます。時を見分けるとは、世界の出来事を通して神が今の私に語っておられるメッセージを聴き取ることです。戦争、社会不安、病や事故、

経済の浮沈…私たちはニュースを見るたび、「神は世界をどこへ導いておられるのか」と問います。個人の人生においても、突然の病や試練のとき、「主よ、なぜですか」と祈らざるを得ません。イエスの答えは明快です。

神は世界を、そして私たちを、救いへと導いておられる。そのために、時に成功や祝福を、また時に痛みや挫折を通して、滅びではなく悔い改めといのちへ招いておられるのです。神のメッセージは、主として二つの通路を通して私たちに届きます。聖書を通して神の、変わらない御心が明瞭に示されています。御言葉は、人生の基準であり、救いの道筋を照らす光です。歴史と出来事を通して、世界と身の回りに起こる事柄は、神の主権のもとにあり、私たちに問いかけを突き付けます。あなたはどこに立つのか。誰に頼るのか。今日、悔い改めて神に立ち帰るか。

義人の苦難や罪のないの人々の犠牲を目にするとき、不信仰へ傾くか、へりくだって自分を顧みるかで、同じ出来事の意味は大きく分かれます。

世界の将来については多くの不確定要素があります。しかし一つだけ確かなことがあります。神は、御子イエス・キリストにある救いへと、全人類を招いておられるということです。私個人の人生についても同じです。神の確かな御旨は、私を悔い改めへ導き、永遠のいのちへ入らせることです。

神は世界を、そしてあなたを、滅びではなく救いへ導いておられます。ニュースも出来事も、あなたを主へ招く救いのサインです。「あなたがたも悔い改めないなら、みな同じように滅びます。」この厳粛な言葉は、脅しではありません。愛の警告です。主はあなたを生かすために語っておられます。「今」応答しましょう。